Rokko Catholic Church Bulletin

カトリック六甲教会 教会報

2017
12
No.552

イエスよ、あなたは私たちのために来られた（聖ベルナルドの祈り）

主イエス、あなたは私たちのために生まれ、私たちのために幼子となられ、
私たちのために来られました。
私たちの救い主よ、あなたの到来は私たちにとって必要です。
あなたが共にいてくださることを必要としているからです。

かぎりなく優しいあなたでいてください。
あなたを信じる私たちの中に住んでください。
私たちの心の目に光を与え、私たちと共にとどまり、弱い私たちをお守りください。

あなたが私たちと共にいてくださるなら、だれが私たちをあざむけましょう。
共にいてくださるなら、私たちを力づけてくださるあなたにとって
不可能なことなどあるでしょうか。
あなたが私たちのためにいてくださるなら、だれが私たちに逆らえるでしょう。

イエスよ、あなたはこの世に来てくださいました。
それは私たちの中に、私たちと共に私たちのために住み、
私たちの味方となり、私たちの救い主であり続けるためです。
主イエスよ、私たちはこの恵みを感謝いたします。

カトリック六甲教会年末年始ミサ予定

12月24日(日)	主日のミサ	7時30分、10時
	主の降誕　夜半のミサ	17時、19時、21時
12月25日(月)	主の降誕ミサ	7時、10時
12月31日(日)	主日のミサ	7時30分、10時
	神の母聖マリアミサ	23時
1月1日(月)	神の母聖マリアミサ	8時30分、11時

2017 年度 第 5 回地区役員会（2017 年 11 月 18 日）議事録

出席者：アルフレド主任司祭、各地区役員

１　壮年会・婦人会主催バーベキュー9 月 17 日（日）報告

２　チャリティバザー11 月 12 日(日)報告

３　教会行事日程と行事担当確認

４　東灘北 2・芦屋地区懇親会(10 月 15 日)報告

５　その他

次回地区役員会は 2018 年 2 月 4 日(日)。

以上

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

＜行事報告＞

祈りと音楽の集い（10 月 29 日）
～ジャン＝フイリップ・メルカールト氏を迎えて～

台風 8 号が接近している 10 月 29 日(日)午後 2 時から当教会主聖堂でメルカールト氏を招いて、パイプオルガンによる演奏会が開催されました。

当日は台風の影響で開始直前は風雨が激しく、わざわざ前日東京から神戸入りされたメルカールト氏にも来場者が少ないと申し訳ないという気持ちが先に立ちました。しかし、いざふたを開けると一応かっこのつく人数（60 名余り）になり、スタッフ一同ホッとしました。

外は嵐に関わらず、心に沁みるメルカールト氏の演奏は聖堂内を柔らかく包み、しばし来場者の皆さまも心落ち着くひと時を過ごされたことと思います。パイプオルガン演奏の第 1 人者が弾く音色は、正直いつも聴いているパイプオルガンからだろうかと耳を疑いました。一つ残念なのは、台風の影響があるにせよ、もっと多くの方、特に当教会の人々に聴いていただけたら良かったのにと思ったのは私一人だけでしょうか。　（音楽チームリーダー　蛭田）

ユスト高山右近の足跡を訪ねて（11 月 3･4 日）
～第3回巡礼「小豆島」～

高山右近の足跡をたどる巡礼の旅は 11 月 3 日（金）～4 日（土）の二日間、アルフレド神父様、六甲教会と他の小教区から参加された方々と共に小豆島を訪れました。小豆島は、豊臣秀吉による伴天連追放令の発布後、秀吉から棄教を迫られた高山右近と都における布教を担っていたイエズス会宣教師オルガンティーノが当地の領主であった小西行長の尽力により潜伏していた地です。

オルガンティーノ神父が潜伏していた肥土山地区と、そこからさらに数キロ奥へ入った所に位置する、右近が隠れ住んでいたとされる中山地区を訪れました。特に右近潜伏の地は、車が行き交うのがやっとの細い道を山奥へと進み、交通手段が発達した今でも不便さを感じる山間でした。400 年前の当時、彼の地へ辿り着くにはかなりの難所だったであろうことは想像に難くありませんでした。巡礼中のミサでアルフレド神父様は「小豆島での高山右近は、これから先の身の上、それ以上に家族や家臣の行く末など悩みの尽きない日々ではあったが、潜伏していた 10 ヶ月間、山深い場所での生活の不自由さの中で本当の意味の『祈り』があった、そんな日々であったと思います。」と話され、参加者は各々に、悩み苦しみの時こそ深く静かに神の声を聞こうとした右近の祈りの日々を思い巡らす旅となりました。

巡礼一日目は小豆島教会において、二日目は小西行長の請願により来島したイエズス会宣教師グレゴリオ・デ・セスペデスによるキリスト教伝来 400 年を記念して建てられた「オラトリオ」においてのミサでした。いずれも私たちが入ると満杯になってしまう小さな建物で、膝を突き合わせて皆がひとつになるようでした。小豆島教会では現地の信徒の方々も一緒にミサに与りました。「ガリラヤの風薫る丘で」小豆島バージョンを独唱してくださった心温まる歓迎も、忘れることができない思い出です。（橘）

小豆島教会の右近像

「高山右近潜伏の地」碑

右近潜伏の中山地区風景

～･～･～･～･～･～･～･～･～･～･～･～･～･～

壮年会「男の料理教室」（11 月 15 日）

壮年会「**男の料理教室**」が 11 月 15 日（水）活動を再開しました。８月～10 月まで活動を休止していた料理教室は、11 月 15 日新規参加の角谷会員も含め、参加者９名で実施しました。

この料理教室は料理メニューの種類や幅は限定されますが、基本的な料理方法を学び、家庭の台所では奥様の料理作りを手伝ったり、たまには奥様に「夕食は僕が作るから安心して遊んでおいで」と言えるようになる事も目的としています。また、現在一人暮らしを余儀なくされている方たちには、和気あいあいとした雰囲気の中で、料理作りの共同作業の楽しさを味わっていただければと思っています。

料理教室は毎月第三水曜日に開かれます。（１月と８月はお休み）開始時間は午前10時から始め、お昼は出来た立ての料理を楽しみ、食後の後片付けをして、午後１時30分頃解散となります。
尚、料理を食べに来られるだけでもOKです。（500円いただきます）但し、来られる場合、準備の都合上、３日前にはお申込みください。
「料理教室」に参加希望される方（女性も可）は、米村又は蛭田までご連絡下さい。

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

バザーのお礼報告

11月12日のチャリティバザーは皆様のお蔭で、昨年同様の収益を上げることが出来ました。本当にありがとうございました。ご協力していただいた皆様に心から感謝申し上げます。
今年の出品は少ないかと心配しておりましたが、いろいろご配慮いただいて、リサイクルの衣料も蚤の市の商品も良い品がそろいました。ミサ後の一時に、狭い会場での人ごみでご迷惑をかけたことと思いますが、ご容赦ください。
今年の特筆すべきことに、中高生会の喫茶コーナーが売り上げを挙げたことと、教会学校のゲームコーナーなどが活躍したことでした。若いエネルギーが頑張ってくれた結果のようです。明るい未来に期待しましょう。
そのほか過去数年のノウハウがきちんと整理されていて、各地区に継承されていることです。きっと「良いサマリア人」の教訓が一人一人の心に根付いているのだと思います。
これからも、支援を必要としている状況をよく見て、共に歩む道を進めることを願っています。神様も良い天気で応援してくださいました。皆様と神様に感謝・感謝です。

＜バザーボランティアグループ報告＞

今年も大勢の方々にバザーに来ていただき、厚くお礼申し上げます。

東条湖の家　障害者と共にバザーに参加

日頃の嫌な心痛めるニュース、雨、雨、台風の恐ろしさが続いた日々を吹き飛ばすような秋晴れに恵まれた上、皆の心を一つに愛のエネルギーで包んでくださったチャリティバザーを与えてくださった神様に感謝です！！　東条湖の家からスタッフ２名に付き添われ３名のメンバーが来てくださいました。
スタッフの方が知的障害を持たれたメンバーの一人一人に身をかがめ優しくゆっくりと尊敬をもって話しかけ関わっていらっしゃる姿に接し、私たち支援者も皆さんを身近に感じることで、私は忙しさ、やらねばならないと言う価値観にとらわれ過ぎて心を失いかけている自分を恥ずかしく感じました。今回は支援先の方々が同じブースに一緒に参加してくださり喜びを共にできたことでチャリティバザー・福祉バザーの意義を思い起こすことが出来ました。疲れもやわらぐ恵み深いバザーでした。神に感謝！　（藤原）

ありがとう！　アンチラ・ドミニ

六甲教会と六甲学院のバザーで手作りのフルーツケーキを売らせて頂き、それが美味しいと毎年買いに来てくださる信徒や近隣の方々に支えられ微力ながら売上金を主に「マリアンホーム（駆け込み寺）」へ寄

付させて頂いております。しかしボランティアグループのメンバーも高齢化し、50年近く続いた「アンチラのケーキ」もあと1～2回焼いて終わりにしようということになり、従ってバザーでの販売は今回が最後となりました。六甲教会、六甲学院、そして皆様方本当にお世話になりまして、ありがとうございました。

（鈴木）

ラハトガ

今回は、パキスタンで同時期を過ごした友人が、一年がかりで編んでくれた毛糸の人形たちが稼いでくれて、又、アクセサリー売り場にセンスのいい売り子さんの助っ人のお蔭で、ラハトガの子どもたちの来年度の制服代が送れる事となり、感謝です。（金子）

コンゴの子どもの教育基金

貧困の為に教育を受けられない子どもたちが多い事、教育を受けなければ安定した収入を得る仕事に就けない事、次の世代にもその繰り返しである事。そんな支援を必要とする子供たちに教育を受けるチャンスになればと思い、教育基金を集めるために活動しています。手作り品、雑貨など販売させて頂き、マリアの宣教者フランシスコ修道会を通じてコンゴで働かれているSr.佐野に送金しています。小、中、高校生、大学生、看護師、検査技師などに支援してきました。（竹内）

ラリグランス・クラブ

17 年前からネパールの生活困難に陥っている方々の支援をしています。小さな活動ですが、運営資金は、バザーの売上と寄付金のみで行っています。この度のバザーの売上も活動の重要な一部となり全て2018 年度の活動に役立たせていただきます。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

（五十嵐）

かなの家

知的障害を持つ人に照らされたラルシュかなの家。彼らの生活支援のために、今年も彼らが作っている天然素材のせっけんと、彼らを支援してくれている友人から寄付されたシルクのスカーフ、アクセサリー、そして手作りのパウンドケーキなどを売らせていただき、かなの家に送金させていただきました。

（井川）

子どもの里

子どもの里支援のために志を同じくする人たちと参加させていただきました。手作りのトートバッグ、ガラス製品、小物類を各種、販売しました。私たち小さな集まりで、毎月の「ふれあい広場」になかなか出店できないので、良い機会を与えていただき、ありがとうございました。（蛭田）

≪ 各 部 だ よ り ≫　各専門部会の活動をお知らせいたします

小教区評議会

12 月 17 日（日）　12:00　評議会

広報部

12 月 30 日（土）　教会報 1 月号印刷

教会学校

12 月 16 日（土）　クリスマス会・終業式

≪ お　知　ら　せ ≫　教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです

★社会活動部より★

12月1日（金） 初金ミサ後　高山神父様の学習会（第4会議室）

12月6日（水） 10時　手芸の集い（第1、第2会議室）
どなたでも参加ご自由です。

12月9日（土） 10時　炊き出し（イグナチオホール台所）
小野浜グランドにて、おじさん達のお話し相手や、配食だけでもOKです。

12月11日（月）9時 30 分　ともしび会（イグナチオホール台所）
施設の子どもたちへのケーキ作り

12月17日（日）10時ミサ後　ふれあい広場（イグナチオホール）

12月25日（月）12時 30 分　ともしび会
クリスマスデコレーションケーキを子どもたちにプレゼント

★墓地っ子だより★

～秋の墓参と納骨式～

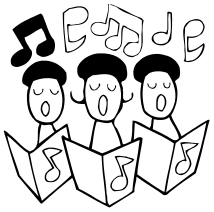
11 月 5 日（日）穏やかな晴天に恵まれた中、秋の墓参と納骨式を無事終えることが出来ました。

春の墓参の後、墓地の管理が行き届かず、皆さまにはご迷惑をおかけしておりました。お陰様でようやく整えることが出来ました。

墓参後に、見晴らしの良い藤棚下のベンチで一休みもして頂けます。また個人墓地所有の方には時折雑草抜き方々お越し頂き、このベンチで神戸の街を一望しながら楽しんで頂けたら幸いです。

（墓地委員会）

カトリック社会活動神戸センター須磨夜回り会支援
クリスマスチャリティコンサート 2017



開催日：　12 月 2 日（土）
開　演：　13 時（開場 12 時 30 分）
場　所：　カトリック神戸中央教会主聖堂
入場料：　無料（支援カンパにご協力ください）

神戸地区社会活動委員会

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

2017 年第 15 回「メサイア・クリスマスコンサート」

日　　時：　12 月 10 日（日）14 時（開場 13 時 30 分）
場　　所：　カトリック六甲教会聖堂
入 場 料：　無料（どなたでもご自由にお入りください。）

メサイア実行委員会

第 59 回神戸市民クリスマス「みんなで祝おうクリスマス」

日　　時：　12 月 15 日（金）
場　　所：　日本基督教団　神戸栄光教会（神戸市中央区下山手通 4-16-1）
入 場 料：　無料（どなたでもご参加いただけます。）
プログラム：　1 キャロリング　17：00～18：30　北野ｺｰｽ・元町ｺｰｽ
　　2 子どもプログラム　17：30～19：30　入退室随時可
　　3 ほっとタイム　18：00～19：15
　　4 祈りと祝福のとき　19：30～20：30
　　5 青年のつどい　20：30～21：30

神戸市民クリスマス委員会

みんなの広場

忘れない日

12 月、1 年が終わるといっても人間が作った区切りに過ぎません。私達の元日は待降節第一主日では、今年は 12 月 3 日になります。

12 月と言えばクリスマス、だが、その前の 12 月 8 日、忌まわしい記憶の日でもありますが、「無原罪の聖母」の祭日、この聖堂が「無原罪の聖母」に捧げられていることを意識している信徒は何ほどか。

今は解体されてしまったがこの教会はまだ司祭館だけであったある日、たまたま司祭館の廊下で出会った主任司祭であったブラウン神父様から、新しく建てる聖堂は「無原罪の聖母」に捧げると聞いて大喜び、今もよく覚えています。私が洗礼の恵を頂いたのが 12 月 8 日でしたから。

「無原罪」とは、人智を超えた不思議、再び天国の扉が開かれる最初の見えない徴、今日は神の慈しみを思いおこしましょう。ともすれば他のことで過ぎてしまうこの日のことを。

（三好）

＜お詫びと訂正＞

教会報 11 月号 3 頁 行事報告「ユスト高山右近列福記念講演会（9 月 16 日」宣教部 飯塚氏の文章中に下記の誤りがありました。ここにお詫びして訂正いたします。

記

誤）『16 世紀は一向宗・法華教・キリシタンといった「主信仰（他信仰に対する）」の時代、・・・』
正）『16 世紀は一向宗・法華宗・キリシタンなどが流行った時代、・・・』

以上

六甲教会受付　年末年始休業のお知らせ
2017 年 12 月 28 日（木）･29 日（金）、
2018 年1月 1 日（月）～3 日（水）

教会報 1 月号の発行は、12 月 31 日（日）です。原稿は 12 月 17 日(日)までに教会受付へご提出ください。FAX 及びメールでも受付いたします。

（広報部）

http://www.rokko-catholic.jp

カトリック六甲教会	
〒657-0061	神戸市灘区赤松町 3－1－21
電話	078－851－2846
FAX	078－851－9023
発行責任者	アルフレド・セゴビア
編集	広報部